

未だ収束していない新型コロナ、ウィルスは目に見えないだけに非常に厄介です。同じく人の心も目に見えません。いじめやハラスメントで受けた心も目に見えないため、何とも思わずエスカレートしてしまう傾向にあります。しかし、人の心はウィルスと違って、相手の立場になって考えれば形は見なくても感じるすることができます。それが人を思うという気持ちであり、人権意識へとつながります。その人を思い心の目で見ようとするのが大切です。



## 学校給食に、もっと地元農産物の活用を ～子ども達の健康と食育のために～

### 安心で良質な食材の活用を！

学校給食は、成長盛りの小中学生が栄養バランスの取れた健全な食事を日々摂るための大切な機会です。また「食育」の面でも、大きな教育的意義があると思います。

山梨県では、ほぼ全ての小中学校で「完全給食」(主食(米飯、パン等)、おかず、牛乳の組み合わせ)が行われています。そのうち主食については、米飯が平均で週3回、小麦製品(パン、麺等)が週2回程度の割合となっています。(※山梨県教育庁保健体育課「学校教育の実施状況」参照)米飯は、山梨県学校給食会(県内の学校給食実施学校に食材を提供)によれば、「J A 梨北と全農パルライスの協力で県産米100%を供給しています」とのことで、地産地消のすばらしい取組だと思えます。

また、パンについては「県内産小麦(かいほのか)5%、輸入小麦95%のブレンドした小麦粉を使用しています」とのことで、製パンに向く小麦品種が数年前から県内でも栽培、活用され始めたことも喜ばしい動きです。

ところで、輸入小麦(大半はアメリカ産とカナダ産)については、残留する農薬成分が健康に悪影響を及ぼす懸念が、幾多の有識者から指摘されています。(※1など)アメリカやカナダで栽培されている小麦については、収穫直前に小麦を一齐に枯らすために散布される除草剤(ラウンドアップ等)の主成分(グリホサート)が、小麦粉やパン等になった後にもしばしば残留し検出されることが近年、世界的に問題となっています。

例えば、千葉大学(社会精神保健教育研究センター)の橋本謙二 教授(神経科学)らが一昨年発表した医学研究では、「妊娠中の農薬グリホサートの摂取が、子どもの自閉症スペクトラム障害などの神経発達障害の病因に関係している可能性がある」ことを示唆しています。(※2)

これに対し、政府(厚労省「食品安全委員会」等)は、「残留農薬の安全基準値をクリアしたものしか流通していないので大丈夫」との見解です。しかし、我が国のグリホサート残留基準値が2017年末に大幅に緩和(小麦は5ppm→30ppm)された背景には、アメリカ政府からの強い要請があったと言われています。こうした問題があることを踏まえて、例えば滋賀県では、今年度から学校給食用パンの原料小麦を全て県内産に切り替えることを決断しました。

ちなみに、給食用パンの原料を自県産に限定するのは、北海道、山口県に続いて3道県目。国産も含めると5道県目、とのことです。(※3)できれば、本県においても、学校給食用パンの原料に占める県産小麦(あるいは国産小麦)の割合を大幅に高めてほしいと切に希望します。県内でも、県産小麦を使った美味しいパンを購入できるパン屋さんが増えてきました。

輸入小麦粉を使ったパンよりも幾らか割高ですが、食の安全性や地産地消の価値を評価して購入する人々がもっと増えてほしいと願っています。

(※1)

東京大学大学院(農学生命科学研究科)教授・鈴木宣弘氏(2021年8月)「『リスクある小麦』の輸入を続ける日本の未路～発がん性指摘される農薬を効率重視で直接散」



(※2)

千葉大学・ニュースリリース「妊娠中の農薬の摂取が、子どもの自閉症の発症に影響か」(2020年5月)



(※3)

日本農業新聞「学校給食のパン～国産小麦の活用を」(2021年11月)



### 活動報告

#### 人権啓発パネル展

9月8日(水)～9月21日(水)甲府市東公民館・甲府市西公民館にて、8月10日(水)～8月23日(火)甲府市北東公民館にて、人権啓発パネル展を開催。

### 今後の予定

#### 人権啓発講演会

10月5日(水)：甲府市庁舎

#### 人権移動教室

10月6日(木)：甲府市立山城小学校



<お詫びと訂正> 先月号の活動報告の甲府市上下水道局において「人権移動教室を開催」となっていましたが、正しくは「人権啓発講演会を開催」でした。訂正とお詫びを申し上げます。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株)とちの木

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生女子)

わたしは、初めて人権という言葉を知りました。七十六億人、全部顔も考え方が、ちがうことがわかりました。だれにきいても、同じ答えが2つあって1つ目が死にたくない。2つ目、幸せになりたい。とゆうことを、知りませんでした。人を大切にする方法をおしえてもらって、あまり、電車やバスにのることは、ないけど、おしえてもらった、おとしよりや体の不自由な人に、席をゆずるとゆうことをやっていたみたいです。人権尊重という言葉を知りました。その意味が、自分が大切なら、人を大切にすると、そして、これから、今以上に、生きていく人を大切にしていきたいです。自分を知れば、すばらしいおとなになれるときいて、もっと自分を知っていききたいと思いました。1カ月に1回、鏡の前に立っておしえてもらったように、自分と話してみようと思いました。自分が、もっているやさしさを形にしていきたいです。

甲斐市立玉幡小学校 (六年生女子)

私は、今日初めて人権について考えました。顔や考えは、生きていく人の数だけ種類があることもあたりまえだと思っていれば、いざ考えてみると、すごいことなんだと思いました。生まれてきたらみえな、死にたくない。幸せになりたい。と思うことを聞いて、自分もそう思うなと思いました。人権の意味は命と幸せを守るけりしと聞いて私は、最初人権がどういうことなのかもわからなかった。人権に興味も持っていないなか、たけど絶対に興味を持ちました。今自分が幸せに生きているかできているのは、たくさんのおかげだ。ということを書けずにはいけず、自分も生活していききたいと思いました。そして自分が大人にならなければならぬために、今書きたいです。今書きたいことが、食べたいもの、働きたいこと、そして、今書きたいです。ありがとうございます。